

大学TOPICS

大村 智先生に「特別荣誉博士」の称号を授与！

平成27年10月26日(月)本学甲府キャンパスにおいて、ノーベル医学・生理学賞の受賞が決定した本学卒業生で名誉顧問の大村 智先生に「特別荣誉博士」の称号を授与しました。授与式では、島田眞路学長から「大村先生のノーベル医学・生理学賞受賞の決定は山梨大学の学生・教職員一同にとって大変誇りになっております。また、地方大学にとって厳しい時代であります、とても励みになります。」との式辞がありました。続いて、島田学長から大村先生に称号記の授与と記念品4品の贈呈が行われました。大村先生から学生に向けて「縁を、出会いを大事にする。袖振り合う小さな縁も大切に。」「至誠惻怛(しせいそくだつ)、何事もまごころ、慈愛の心を持って、やりなさい。そうすると、必ず事はうまくいきますよ。」「山梨ゆかりの人物である小林一三は『金がないから何もできないという人間は、お金があっても何もできない人間だ』と言っている。お金がなくても、志すことがあれば、それに向かって行動を起こすことが大事。」「これは自分の言葉(大村先生ご自身の言葉)で、若い人たちに言っている言葉ですが、『幸運は高い志を好む』、これを皆様にご贈ります。」など、多くのメッセージをいただきました。



大村先生(左)と島田学長(右)

「燃料電池ナノ材料研究センターの飯山センター長が工業標準化事業表彰において経済産業大臣から表彰されました！」

平成27年10月5日(月)、都市センターホテル(東京都千代田区)において、燃料電池ナノ材料研究センターの飯山明裕センター長が、平成27年度工業標準化事業表彰において経済産業大臣から表彰されました。今回の表彰は、IEC/TC21(二次電池)/JWG69Li(自動車用リチウム電池)議長として、強力なリーダーシップと公正かつ的確な判断により、自動車用電池分野における国際標準化を日本主導で推進し、日本の電池・自動車業界にとって有利な国際標準の実現と市場における不利益の回避に大きく貢献するとともに、ISOにおける関連企画審議に参画し、電池システム全体の標準試験適正化に寄与したことが認められたものです。燃料電池ナノ材料研究センターHP: <http://fc-nano.yamanashi.ac.jp/>



飯山センター長

甲州市と山梨大学との包括的連携協定を締結！

平成27年11月12日(木)、甲州市役所において、甲州市と本学との包括的連携協定を締結し、調印式が行われました。甲州市と本学は、昭和62年から母子保健縦断調査(甲州プロジェクト)を基盤とした、環境省の「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」を通して連携してきました。この度、活力のある地域社会の形成および発展を目指して、人的資源の交流や物的資源の相互活用など、様々な分野における緊密な連携協力を通じ、永続的なパートナーシップを確立することを目的に、包括的連携協定が結ばれる運びとなりました。調印式では、本学医学系の山縣然太郎教授から協定締結に至った経過説明があり、その後、田辺甲州市長、島田学長による協定書の署名がなされました。



田辺甲州市長(左)と島田学長(右)

工学部機械工学科4年八巻浩大さん等が優秀賞受賞！

平成27年11月21日(土)、アイメッセ山梨(甲府)にて開催されたやまなし産業支援機構主催の平成27年度ビジネスプランコンテストで、工学部機械工学科4年の八巻浩大さん、園家啓嗣教授、阿部壮志助教がトライアルプランコースにおいて優秀賞を受賞しました。受賞テーマは、「金属材料を用いた3Dプリンタによる複雑製品の造形技術のビジネス化」です。八巻さんは現在、アーク放電を利用した金属溶融積層技術の開発研究を行っており、今回、この技術の実現の可能性を視野に入れた事業計画を作成し、新規性・独自性のあるビジネスアイデアとして受賞につながりました。ビジネスプランコンテスト: <http://www.yiso.or.jp/venture/b-plan.html>



優秀賞受賞の3人

山梨大学特許最新情報

山梨大学が出願した最新特許情報をご紹介します。(企業等との共同出願を除く)
ご興味を持っていただける特許がございましたら、お気軽に本学の社会連携・研究支援機構 社会連携・知財管理センターまでお問合せ下さい。※ご紹介にあたり秘密保持契約の締結をお願いする場合がございます。

山梨大学が出願した最新特許情報につきましては、非公開の情報も含まれますので
会員 以外には公開しておりません。

産学官連携TOPICS

「アグリビジネス創生フェア2015」に出展しました！

11月18日(水)-20日(金)、東京ビッグサイトにて農林水産省主催のアグリビジネス創出フェア2015が開催され山梨大学としてブース出展しました。当フェアは毎年開催され、全国の大学等の研究機関が出展し、アグリビジネスにおける産学連携のマッチングの場として活用されています。今年は「知の集積と地方創生」テーマのもと盛大に行われました。本学ブースでは、生命環境学部久本雅嗣准教授の「赤ワインに含まれる高分子化合物」「ワインの褐変化に関する化合物の解明」、山村英樹准教授の「酵母の機能性開発」「自然界からの有用微生物資源の探索と有効利用」、ワイン科学研究センター鈴木俊二准教授の「微生物のちからで植物の病気を抑制する」についてポスター展示を行いました。また、ワイン研の研究成果であるワインのテイスティングも行い、多くの来場者にご参加頂きました。



山梨大学ブースの展示風景

「山梨テクノICTメッセ2015」に出展しました！

県内最大級の“ものづくりと情報通信”の展示会である「山梨テクノICTメッセ2015」が11月19日(木)-21日(土)にアイメッセ山梨にて開催され、山梨大学の技術シーズを紹介しました。ポスター展示では、電気電子情報工学系の豊浦正広助教、機械工学系の野田善之准教授、寺田英嗣教授、浮田芳昭助教の4名の研究を紹介しました。また、11月19日(木)20日(金)は豊浦正広先生が「伝統織物からデジタルファブリケーション」の研究について、織物(実物)展示と映像による分かりやすい説明を行い、多くの方々より注目されました。本イベントは新たなビジネスチャンス創出の機会とされ今年で37回目で、来場者数は10,477名と盛況でした。



豊浦先生と出展ブースの風景

JST東京本部にて「新技術説明会」を開催しました！

平成27年12月10日(木)、JST東京本部別館ホールにおいて「千葉大学・芝浦工業大学・埼玉大学・山梨大学新技術説明会」を開催しました。この新技術説明会は、千葉大学ほか3大学と共にJSTとの共同主催として開催し、研究成果である新技術(特許)を実用化させることを目的としており、本学から、生命農学系の中村和夫准教授、新森英之准教授の2件の新技術を出展し、多くの企業関係者が



新森先生の研究発表

コーディネーターによる【研究者紹介】

燃料電池ナノ材料研究センター センター長、教授 水素・燃料電池技術支援室 室長 飯山明裕 (いいやま あきひろ)

燃料電池ナノ材料研究センター長兼水素・燃料電池技術支援室長の飯山教授の紹介を致します。先生は、本年4月に山梨大学の燃料電池ナノ材料研究センター長に就任されました。ご存じのとおりこのセンターでは平成18年から7年間のNEDO支援を受けて、主に電解質膜と改質触媒に関連した多くの成果を上げました。飯山先生はその時期のセンター長渡辺教授の後任者になります。このセンターを中心とした本学の研究成果を、県内企業に移転し産業化を促進するために、本学が社会連携・研究支援機構に本年6月に設置いたしました「水素・燃料電池技術支援室」の室長も兼任されておられます。この「水素・燃料電池技術支援室」は、山梨県、やまなし産業支援機構と協定での連携のもと、同じく本年6月に設けられた「やまなし水素・燃料電池ネットワーク協議会」を通じて、企業の水素・燃料電池産業への参入を支援しています。また飯山先生はこの協議会会長も兼任されております。協議会では7つのワーキングに分かれて活動をし、とくに県内企業への技術移転とすでに実績のある県外企業の県内への誘致を軸に、山梨燃料電池バレー構想実現に向かって邁進しております。

(記: 准教授・統括コーディネータ 還田)



飯山先生

産学官連携TOPICS、イベント活動ほか報告

アカデミックサロン(第8回)を開催しました！

第8回アカデミックサロンを平成27年10月2日(金)午後4時から甲府駅北口「CAFE 風土」にて開催しました。今回は生命環境学部環境科学科の小林拓准教授から「一研究者から見た南極観測」と題し、地球環境観測、観測技術や機器、南極での生活や基地の様子などを100枚以上の写真と映像で聴かせて戴きました。極地での研究ですが、基地のお祭りなどもあり生活は楽しそうに見えました。また、先生が身体を鍛錬(トライアスロンにも参加)を怠らないことに感心しました。午後6時以降は第2部として、お弁当と地元ワインを賞味しながらの多くの質問や意見が出されました。



小林拓先生(左)と参加者

南極の氷で
オンザロック

アカデミックサロン(第9回)を開催しました！

第9回アカデミックサロンを平成27年12月11日(金)午後4時から甲府駅北口「CAFE 風土」にて開催しました。講師は生命環境学部生命工学科の長沼孝文研究員と大学院博士課程の柳場まな氏のお二人で「微生物の力借りれば石油代替燃料はつくれるのか?」と題し、長沼先生から微生物の特徴を人間と比較し分かり易い説明を、柳場さんから酵母を使った液体燃料の生産についてお話を聴きました。

微生物が持つ無限の可能性を信じ、その信念を力として夢を実現しようとしている姿に感動致しました。また、第2部のお弁当とワインの時間も盛況でした。ひとつサブ



柳場さん(左)と長沼先生(右)

質疑風景(上)
第2部風景(下)

本クラブ会員企業様へ訪問しています！

「クラブ会員企業様へのご訪問」にあたり8月にご要望のアンケートを送付しておりますが、これまで9社から回答を戴き7社の訪問を実施・計画中です。7社のご要望の内容は5社が企業でのフリートーク、2社が大学での研究室訪問となっております。これまでに3社の訪問・来訪を終えました。企業様の事務所や現場に伺い話をすることは、企業様が目指す夢・抱える課題を同じ目線と気持ちで理解する上で重要なことと考えており、また私共の新たな意欲の源にもなります。未回答の企業様にも是非



ニスカ(株)様 2015.12.2

東京エレクトロン(株)様 2015.11.11

浮田先生と談笑

するニスカの皆様

(本学にて)

(有)RDM様 2015.11.25

 助成金等公募情報

山梨県産業労働部

山梨県のものづくり産業の活性化を図るため、今後成長が期待される産業分野への進出を促進し、経営革新や業種転換を進める中小企業の研究開発を支援することにより、本県産業の高度化と競争力の高い産業集積の形成を図ることを目的としています。

■公募期間：2次募集 平成27年12月中旬～平成28年1月下旬

■補助対象事業：

<成長分野中核技術研究開発事業>

・補助限度額 100万円～2,000万円 ・補助率 補助対象経費の2/3以内

<ものづくり基盤技術研究開発事業>

・補助限度額 100万円～500万円 ・補助率 補助対象経費の1/2以内

■対象成長分野：

・クリーンエネルギー ・超精密・超微細高機能部品 ・複合素材・環境素材 ・生産機器及び生産システム

平成28年度「医療機器開発推進研究事業」に係る公募(1次公募) 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

平成28年度「医療機器開発推進研究事業」を実施(受託)する機関を12月中旬から公募します。本事業は、革新的医療機器の創出に向けた非臨床研究や臨床研究や医師主導治験等を行い、企業への導出につながる成果を出すことを目標としています。これにより、より効率性が高く安全な医療技術の実現を図ります。

■対象者： 機関を対象として公募し、国内の大学、研究機関、法人が応募できます。

※詳細については、公募開始後、公募要領をご覧ください。

■公募期間(予定)： 12月中旬～1月中旬

■説明会： 12月22日(火)13時～15時に、東京で開催を予定しています。

説明会の詳細が決まりましたら、参加申し込み方法とともに、AMEDホームページでお知らせいたします。

 今後のイベント情報

農商工連携マッチングフェア

中小企業者や農林漁業者等が開発した商品等の商談や販路開拓、取組みの紹介を致します。

日 時：平成28年1月27日(水)13:30～17:00

場 所：甲府富士屋ホテル1階グランドホール<昇仙閣>

スマートエネルギーWeek 2016 内

FC EXPO 2016

第12回 国際水素・燃料電池展

水素・燃料電池の研究開発、製造に必要なあらゆる技術、部品・材料、装置、および燃料電池システムが一堂に出展する国際商談展です。

日 時：平成28年3月2日(水)～4日(金)

テクノプラザおかや ものづくりフェア2016
岡谷市企業の高度芳情化・最先端技術を集約し発信

日 時：平成28年2月5日(金)～6日(土)

場 所：ララオカヤ 2階特設会場

主 催：テクノプラザおかやものづくりフェア2016
実行委員会

【発行 2015年12月17日】



国立大学法人 山梨大学

社会連携・研究支援機構

新技術情報クラブ事務局

〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37